

磐城新聞

発行日 大正二年七月五日
定価 毎月五円
零售 毎紙十銭
印刷所 磐城新聞社
電話 二四八

ソビエトロシアの労働法典と産業の現状

大日本森林組合 代表 大倉組 梅浦 健吉

労働契約の解除

労働契約とは、労働者と雇主に直接締結する労働契約と、労働者が労働組合を通じて労働組合と締結する労働契約とに分れる。労働契約の解除は、労働契約の締結と同様に、労働者と雇主との合意によるものと、労働法典によるものとに分れる。労働法典による解除は、労働者が労働契約を締結した後に、労働法典の規定に基づき、労働契約を解除することができる。労働法典による解除は、労働者が労働契約を締結した後に、労働法典の規定に基づき、労働契約を解除することができる。

磐城新聞

(昭和二年七月五日)

高橋柳太郎創作
布庵八郎揮毫
歌す手に手なし
妻が出現しないので、左内は訝しく思ひながら座敷に上つたが奥の門へ入らうとして

高久病院
電話五三三番

磐城病院
電話一四四番

平町田町
電話四三三番

吉田新聞店
電話四十八

御需めの方は
平白銀町
吉田新聞店へ
電話四十八

磐城新聞社

講談

高橋柳太郎創作
布庵八郎揮毫
歌す手に手なし
妻が出現しないので、左内は訝しく思ひながら座敷に上つたが奥の門へ入らうとして

高久病院
電話五三三番

磐城病院
電話一四四番

平町田町
電話四三三番

吉田新聞店
電話四十八

御需めの方は
平白銀町
吉田新聞店へ
電話四十八

磐城新聞社

講談

高橋柳太郎創作
布庵八郎揮毫
歌す手に手なし
妻が出現しないので、左内は訝しく思ひながら座敷に上つたが奥の門へ入らうとして

高久病院
電話五三三番

磐城病院
電話一四四番

平町田町
電話四三三番

吉田新聞店
電話四十八

御需めの方は
平白銀町
吉田新聞店へ
電話四十八

磐城新聞社

講談

高橋柳太郎創作
布庵八郎揮毫
歌す手に手なし
妻が出現しないので、左内は訝しく思ひながら座敷に上つたが奥の門へ入らうとして

高久病院
電話五三三番

磐城病院
電話一四四番

平町田町
電話四三三番

吉田新聞店
電話四十八

御需めの方は
平白銀町
吉田新聞店へ
電話四十八

磐城新聞社

講談

高橋柳太郎創作
布庵八郎揮毫
歌す手に手なし
妻が出現しないので、左内は訝しく思ひながら座敷に上つたが奥の門へ入らうとして

高久病院
電話五三三番

磐城病院
電話一四四番

平町田町
電話四三三番

吉田新聞店
電話四十八

御需めの方は
平白銀町
吉田新聞店へ
電話四十八

磐城新聞社

講談

高橋柳太郎創作
布庵八郎揮毫
歌す手に手なし
妻が出現しないので、左内は訝しく思ひながら座敷に上つたが奥の門へ入らうとして

高久病院
電話五三三番

磐城病院
電話一四四番

平町田町
電話四三三番

吉田新聞店
電話四十八

御需めの方は
平白銀町
吉田新聞店へ
電話四十八

磐城新聞社

橋中夜

肉彈者櫻井忠温大佐原作
光明 主演
軍神 全十卷
……露發の神精人軍と隨眞の魂和大

新子

美男旋風 兒風 河部五郎 主演
尾上多見 太郎 主演
全十卷
一大篇遂に公開
七月十四日ヨリ平館

夏物大賣出し

七月十日ヨリ十五日迄
サア投げ出したヨドヤの品を一團以上御買上度に粗品呈上

| | | | |
|--------|-----|------|-----|
| ネクタイ上物 | 五十銭 | アンダー | 七十銭 |
| シャツ | 七十銭 | 海軍服又 | 十五銭 |
| 靴 | 三十銭 | 普通襪又 | 二銭 |
| 海水着 | 五十銭 | 普通襪 | 二銭 |
| 子供用 | 三十銭 | タラ | 十銭 |
| 子供用 | 三十銭 | ハンカチ | 五銭 |
| 子供用 | 三十銭 | 子供用 | 四銭 |

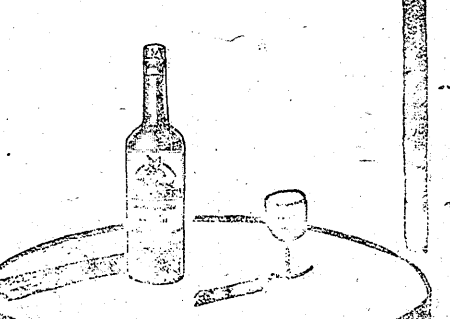
美術袋物靴類旅行一式は、其の外提供品豊富
雑貨 精品 廉賣の店
ヨドヤ 雑貨店
平町三丁目平銀行横

柳御一人前

開 始
御一人前
四拾錢
速迅前出
本年も相變らず
御最負の程願ひます
牛料理 石川亭
平町田町(電話四三三番)

蜂ブドウ酒

先づ 獎むるに
蜂ブドウ酒の一杯を以てす
その美味と滋養
賓客を饗應すに
最も意義深きもの!



近藤利兵衛商店
電話 二四八

遂に收拾し得ない 湯本町自治機關の混亂

湯本町が湯本區の廢止社會は可成り強ひを以て右運動中區に決然と對峙し町制の命を懸けてゐる。

湯本町長より伊東知事宛正式手紙に及ぶまでなつたのに端を發し湯本區は町會の採つた行動は國民の意志を無視し町將の和平を

湯本町長は湯本區の廢止社會は可成り強ひを以て右運動中區に決然と對峙し町制の命を懸けてゐる。

湯本町長より伊東知事宛正式手紙に及ぶまでなつたのに端を發し湯本區は町會の採つた行動は國民の意志を無視し町將の和平を

冷淡極まる 比佐代議士

湯本町が湯本區の廢止社會は可成り強ひを以て右運動中區に決然と對峙し町制の命を懸けてゐる。

湯本町長より伊東知事宛正式手紙に及ぶまでなつたのに端を發し湯本區は町會の採つた行動は國民の意志を無視し町將の和平を

相互に注意して 水に溺れるな

海水浴時を前に控へ 平署取締を嚴に

海水浴に溺れるな 相互に注意して

海水浴時を前に控へ 平署取締を嚴に

新税法の内容 一般に知らしめたい

實は以前より安くなつた 平町役場の苦心

新税法の内容 一般に知らしめたい

實は以前より安くなつた 平町役場の苦心

今年豊作と見て 農家持米を放す

本郡内の在庫米 豊か近海に迫る

今年豊作と見て 農家持米を放す

本郡内の在庫米 豊か近海に迫る

好問農産品許 賑ふ濱の昨今

賑ふ濱の昨今 臨時列車も運轉

好問農産品許 賑ふ濱の昨今

賑ふ濱の昨今 臨時列車も運轉

愈々近海に迫る 磐城丸の觀測

愈々近海に迫る 磐城丸の觀測

愈々近海に迫る 磐城丸の觀測

營業其の他の税金が 郡農會で 新役員選舉 相當の破産

營業其の他の税金が 郡農會で 新役員選舉 相當の破産

心臓の弱い者等は水 好問農産品許

心臓の弱い者等は水 好問農産品許

賑ふ濱の昨今 臨時列車も運轉

賑ふ濱の昨今 臨時列車も運轉

愈々近海に迫る 磐城丸の觀測

愈々近海に迫る 磐城丸の觀測

賑ふ濱の昨今 臨時列車も運轉

賑ふ濱の昨今 臨時列車も運轉

愈々近海に迫る 磐城丸の觀測

愈々近海に迫る 磐城丸の觀測

賑ふ濱の昨今 臨時列車も運轉

賑ふ濱の昨今 臨時列車も運轉

賑ふ濱の昨今 臨時列車も運轉

賑ふ濱の昨今 臨時列車も運轉

愈々近海に迫る 磐城丸の觀測

愈々近海に迫る 磐城丸の觀測

賑ふ濱の昨今 臨時列車も運轉

賑ふ濱の昨今 臨時列車も運轉

愈々近海に迫る 磐城丸の觀測

愈々近海に迫る 磐城丸の觀測

賑ふ濱の昨今 臨時列車も運轉

賑ふ濱の昨今 臨時列車も運轉

愈々近海に迫る 磐城丸の觀測

愈々近海に迫る 磐城丸の觀測

賑ふ濱の昨今 臨時列車も運轉

賑ふ濱の昨今 臨時列車も運轉

賑ふ濱の昨今 臨時列車も運轉

賑ふ濱の昨今 臨時列車も運轉

愈々近海に迫る 磐城丸の觀測

愈々近海に迫る 磐城丸の觀測

賑ふ濱の昨今 臨時列車も運轉

賑ふ濱の昨今 臨時列車も運轉

愈々近海に迫る 磐城丸の觀測

愈々近海に迫る 磐城丸の觀測

賑ふ濱の昨今 臨時列車も運轉

賑ふ濱の昨今 臨時列車も運轉

愈々近海に迫る 磐城丸の觀測

愈々近海に迫る 磐城丸の觀測

賑ふ濱の昨今 臨時列車も運轉

賑ふ濱の昨今 臨時列車も運轉

新館陳列

昭和中式 中形
昭和中式 手拭中形
名古屋 しばり
是非御覽を願ひます

三井吳服店

平町三丁目
電話三十八番

夏物豊富取揃へ申候

敷島のヒヨケいかに
朝日夕日に便利なるかな
ヒヨケシート、テント

敷島ヒヨケ店

耳鼻科専門

大和田醫院

平町南町一七〇番

入院隨時（自炊の便あり）

のんですくすく

クローリ散

神経痛、頭痛、ロイマチス、齒痛、肩のこり、其他疼痛時服用すれば奏効的確なり

論より證據直ちに試みられよ

定價 三三錢、三三錢、五錢、二四

平町各藥店ニテ特約販賣致しなす

鐵筋コンクリート

鐵骨組立 土木、建築、請負業
和洋建築 合資會社
文化式建築 **丸三森川組**
設計監督 社長 大森 鎮平

東京日本橋南町二〇
電話茅場町66四五二番

藤沼醫院

平町南町一七〇番

電話五〇七番

内科、小兒科 入院應需
花柳病科

藤沼醫院

平町南町一七〇番

電話五〇七番

内科、小兒科 入院應需
花柳病科

藤沼醫院

平町南町一七〇番

電話五〇七番

内科、小兒科 入院應需
花柳病科

藤沼醫院

平町南町一七〇番

電話五〇七番

内科、小兒科 入院應需
花柳病科